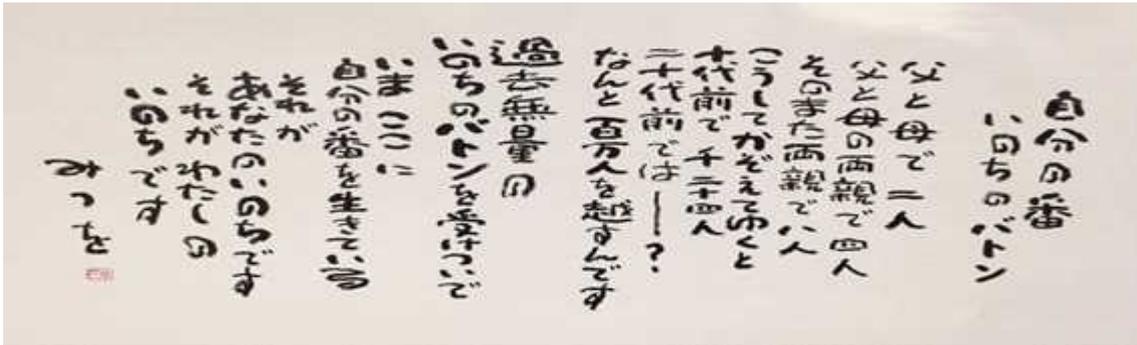




学校だより
【12月10日号】

校長室より⑳ 命について考える①

今月のめあては生命尊重です。朝礼で詩を紹介しました。

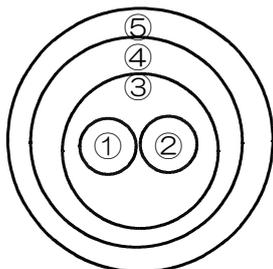


みなさんの命はお父さんとお母さんの二人から受け継いだもの。お父さんとお母さんの命は、それぞれのお父さんとお母さんから受け継いだもの。こうして数えていくと10代前だと1024人、20代前だと104万8576人。今、ここに生きている自分、生かされている自分の命はたくさんの人から受け継いだ命。この世に一人しかいない自分。一つしかない命。どうか大切にしてください。

校長室より㉑ 命について考える②

人権週間の取り組みとして12/9(水)に総社市生徒指導サポート相談員の栗本新也先生をお招きして6年生を対象に“いじめをなくす”ことについてお話をいただきました。栗本先生は中学校の教員時代に体験したことをもとに子どもたちの心に語りかけるように話してくださいました。

1いじめの構造について



- ① 本人
- ② 相手
- ③ おもしろがる人
- ④ 見て見ぬふりをする人
- ⑤ 何とかしたい人



※③のおもしろがる人が多いといじめは大きくなる。

2いじめをなくすために

- ① いじめを嫌だと思うこと
- ② 相談すること
- ③ 声に出すこと

※残念ながら周りの大人は気づきにくい。一番わかるのはクラスメイト。いじめは嫌だという気持ちが強くなればなるほど②や③の行動に移すことができる。

これから先、決して楽しいことばかりではないと思います。嫌なことやつらいことがあったり人と比べて落ち込んだりすることがあると思います。そんな時こそ、自分はこの世にたった一人しかいないかけがえのない存在であることを忘れないで、自分を自分に与えられた命を大切にしてほしいと思います。合わせて、自分と同じように友だちやまわりの人を大切に、人の心の痛みがわかり、人にやさしくできる人であってほしいと思います。

6年生のみなさんが今日のお話を心に刻み、自分も自分の周りの人も共に幸せな日々をすごしていってくれることを心から願っています。